

防コミの歩き方

BOSAI
KOBE
MIRAI

地域で育てる中学生防災ジュニアチーム

8月21日、蓮池小学校で実施された「第62次神戸市教育研究集会分科会」にて、夢野中学校の防災教育について防災福祉コミュニティの立場でお話させていただきましたので、その内容をご紹介します。

●夢野中学校防災ジュニアチーム結成

住民の高齢化が急速に進み、防災訓練を含む地域活動への若い世代の参加が求められる兵庫区北西部で、地域住民との交流を深め、地域防災の担い手としての自覚を持ってもらおうと、平成23年度に夢野中学校防災ジュニアチームを結成しました。元々、



共同で防災訓練をしている近隣4小学校区の防災福祉コミュニティでは兵庫消防団第2分団、兵庫消防署、夢野中学校と運営会議を重ねながらさまざまな活動をおこなっています。

●活動概要

兵庫区内の須佐野中学校で実施されている防災教育をモデルに、夢野中学校の総合学習の一環として、中学1年生全員（約110人）に対し、年間通じて各種防災教育を実施しています。消火訓練、救出救護訓練、市民救命士講習など体験型防災学習だけでなく、学校周辺の水防危険箇所を見学する「防災まちあるき」など、地域の特性を踏まえた学習内容となるように工夫しています。平成23年度末には『防災ジュニアチーム修了証』と『夢野中学校防災ジュニアチーム専用ユニフォーム』を贈呈しました。

●防災教育の成果

防災ジュニアチーム結成が、中学生の防災に関する知識習得だけでなく、地域の防災訓練等に積極的に参加できる人材育成になればと考えています。さらに、けがの手当てや心肺蘇生、AED取り扱いなどの講習会実施や、各種の地域活動に中学生が参加できる環境づくりに努めていきたいと考えています。すでに「クリーン作戦」には一部参加していますが、早期に防災ジュニアチームを立ち上げた須佐野中学校では、中学生が住民と挨拶を交わすようになり、地域活動にも参加してくれるようになったと聞きます。住民と中学生が気軽に会話できるまちづくりができれば、いじめ問題の解決にもつながるのではないのでしょうか。

●先生方との意見交換

当日は20人以上の先生方に話を聞いていただき、意見交換等も実施しました。地域の将来を担う中学生の若い力を多に発揮してもらうため、学校の先生方の力も非常に重要であると改めて認識することができ、貴重なひと時となりました。

今後も連絡を密にして、人づくり・地域づくりに努めたいと考えております。



(ひよどり地区防災福祉コミュニティ

副委員長 森田 祐)